Hitachi Microsoftware Systems,Inc.

News Release

２００２年2月１４日
株式会社 日立マイクロソフトウェアシステムズ

Webメールサーバソフトウェア「GraceMail® Ver.3」のオプション製品「メール自動転送機能オプション」を新発売

株式会社日立マイクロソフトウェアシステムズ（社長：山田邦光、本社：神奈川県横浜市、以下日立ＭＳ）は、このたびWebメールサーバソフトウェア「GraceMail® Ver.3」のオプション製品として、サーバに届いた特定のメールを携帯電話やPDAなど他に指定したメールアドレスに自動転送するソフトウェア「メール自動転送機能オプション」を開発し、２００２年2月１８日より販売を開始いたします。また、GraceMail® Ver.3基本ソフトウェアについても「簡易お知らせ機能」を追加したアップデート版を同日より出荷いたします。

「GraceMail®」はクライアントPCのWebブラウザを利用して、メールを受信・発信するメールサーバソフトウェアとして１９９７年１２月に発売以来、一般企業をはじめ、教育機関、医療機関、ネットワーク事業者など約４,０００サイト（OEM製品を含む）の導入実績があります。

今回発売いたします「メール自動転送機能オプション」は、外出中などでも届いたメールを確認できるように、ユーザーが指定したメールアドレスにメールを自動転送するオプション製品です。特に近年メール利用者が増加している携帯電話やPDAなどのモバイル端末での利便性を考慮し、(1)送信先一覧の削除や添付ファイルの削除／名称のみに要約して転送する、(2)特定の送信者や件名のメールに限定して転送する、(3)転送する曜日および時間帯を設定する、といった各機能を装備しました。これらの機能により、ユーザーは緊急度や送信者など必要レベルに応じたメールだけを確認することが可能です。休日／定時以降の緊急メールの対応や外出の多い営業担当者やメンテナンス担当者の業務を強力にサポートします。

また、今回 GraceMail®基本ソフトウェアのアップデートでは新たに「簡易お知らせ機能」を追加しました。この「簡易お知らせ機能」は、ユーザー全員に知らせたい情報をユーザーのメール受信画面に「お知らせ」として表示させる簡易掲示板機能です。掲載情報は掲示板専用のアドレスにメールを送信することで設定でき、管理者は投稿可能な人を限定することも可能です。情報を掲載する期間を設定することができ、掲載期限が過ぎると自動的に削除されますから、情報のメンテナンスも容易です。このほか今回のアップデートでは、サーバーでの動作確認OSにRed Hat® Linux 7.2を追加し、クライアント環境ではWindows® XPでの動作確認および利用可能なブラウザとしてMicrosoft® Internet Explorer 6を追加しました。

現在GraceMail® Ver.3をご利用いただいているお客様は、基本ソフトウェアをVer.3.4にアップデートするツール（ソフトウェア）を、当製品ホームページ（http://www.hitachi-ms.co.jp/gracemail/）より無償でダウンロードいただけます。

【今回発売する新製品】

1. **製品の名称**:「**メール自動転送機能オプション**」
2. **発売日**:**2002年2月18日**
3. **出荷開始日**:**2002年3月4日**
4. **標準価格**:**128,000円**(**税別**)
   (GraceMail®**基本ソフトウェアは含まれておりません。**)
5. **動作環境**:

サーバ:

GraceMail® Ver.3 基本ソフトウェアがインストールされていて、正常に動作していることが必要です。
旧バージョン(Ver1.5、Ver.2.0)の GraceMail®では動作しません。旧バージョンをご利用の場合は、Ver.3 へのアップグレードが必要です。

転送先クライアント:

GraceMail®からメールを送信可能なメールアドレスが必要です。
テキストデータが表示できる端末機器（携帯電話、PDA、PC など）が必要です。

GraceMailR Ver.3 の動作環境:

サーバ：
OS
- Solaris 2.6, 2.7, 2.8 for SPARC※１
- Red Hat® Linux 6.2J, 7.2
- Turbolinux Server 6.1, 6.5
- Vine Linux 2.0

（上記以外の OS については、別途ご相談ください。）
※１：マルチ CPU 上で動作させる場合は個別見積対応となります。

【GraceMail®Ver.3 アップデート版について】

1. **製品のバージョン**:Version 3 Rev.4
2. **出荷日**:**2002年2月18日**
3. **標準価格**:**218,000円**(**税別**)(**従来製品と同じです**)
4. **動作環境**:

対応 OS に Red Hat Linux 7.2 を追加しました。その他は、従来と同様です。

5. **提供方法**:

GraceMail® Ver.3 をご購入いただいているお客様は、製品ホームページ(http://www.hitachi-ms.co.jp/gracemail/)から無償でダウンロードいただけます。
旧製品(Ver.1.5、Ver.2.0)をご使用中のお客様は、基本ソフトウェアを Ver.3 へのアップグレードが必要です(２００２年２月１８日以降に出荷する GraceMail®基本ソフトウェアは Version 3 Rev.4 となります)。
Ver.2.0 からのアップグレードは７０,０００円（税別）、
Ver.1.5 からのアップグレードは１００,０００円（税別）です。

6. **今回追加された主な項目**:

- 簡易お知らせ機能
- Microsoft® Internet Explorer 6 での動作確認（クライアント用ブラウザ）
- Windows® XP での動作確認（クライアント動作環境）
- Red Hat® Linux 7.2 対応（サーバ OS）

＜他社商標注記＞

- Linux は，Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。
- Solaris は，米国 Sun Microsystems, Inc.の商品名称です。
- SCD 適合ロゴを含むすべての SPARC 商標は，米国における米国 SPARC International, Inc.の商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は米国 Sun Microsystems, Inc. が開発したアーキテクチャに基づくものです。
- Red Hat は，米国 Red Hat,lnc.の登録商標です。
- TurboLinux の名称及びロゴは，TurboLinux,Inc.の商標です。
- Microsoft，Windows は，米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Microsoft® Internet Explorer，Windows® XP は，米国 Microsoft Corporation の商品名称です。
- その他記載の会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

＜当社商標に関する表示＞

- GraceMail は、(株)日立マイクロソフトウェアシステムズの登録商標です。

お客様からの本製品に関するお問合わせ窓口

(株)日立マイクロソフトウェアシステムズ　市場開拓部 担当：田上
〒244-0817 神奈川県横浜市戸塚区吉田町 292 番地
TEL:045-865-8155(ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ)、FAX:045-865-8161
e-mail:grace-sal@hitachi-ms.co.jp
製品紹介ホームページ URL：http://www.hitachi-ms.co.jp/gracemail/

報道機関殿からの本件内容に関するお問合わせ窓口

(株)日立マイクロソフトウェアシステムズ　企画室 担当：薮内、丸山
〒244-0817 神奈川県横浜市戸塚区吉田町 292 番地
TEL:045-865-8172(ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ)、FAX:045-865-8154
e-mail: kikaku@hitachi-ms.co.jp

【日立 MS に関する参考資料】

(株)日立マイクロソフトウェアシステムズの概要（2002年2月現在）

設　　立	１９８２年６月
所 在 地	神奈川県横浜市戸塚区吉田町２９２番地
資 本 金	一億円　(株)日立製作所全額出資
代 表 者	山田　邦光（取締役社長）
従 業 員	４５６名
事業内容	当社は、日立グループのソフトウェア開発・ソリューションサービス専門企業として Web Computing をベースにシステムソリューション事業を展開しています。「Web ソリューション」「CRM ソリューション」「デジタル映像ソリューション」「機器組込みソフトウェア SI」「DVD 関連」「SCM ソリューション」「モバイルソリューション」「CAD 関連ソリューション」「基幹システム構築 SI」の９事業分野を柱として、これらの分野のソフトウェア製品の開発・販売およびソリューション・サービスの提供を通じて、人に優しくすみやすい社会を実現する「Web Computing Solution Provider」を目指しています。

以上